

大俣小だより

3月号

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



春の訪れと新たなスタート

春の訪れとともに、子どもたちの成長を感じる季節がやってきました。3月は卒業や進級の時期でもあり、子どもたちにとって新たな一歩を踏み出す大切な月です。

今年度も、保護者の皆様や地域の皆様のご支援とご協力のおかげで、子どもたちは多くのことを学び、成長することができました。心より感謝申し上げます。特に、家庭での励ましや声かけ、日々の学習サポート、学校行事へのご参加など、皆様の温かいご支援が子どもたちの成長に大きく寄与しています。

6年生は、いよいよ中学校へと進学します。これまでの経験を糧に、新しい環境でも自信を持って挑戦してほしいと思います。また、1～5年生も、次の学年に向けて準備を進めています。新しい学年での目標をしっかりともち、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

これからも、保護者の皆様や地域の皆様とともに、子どもたちの成長を見守り、支えていきたいと思っています。皆様のご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

「すべては

子どもたちのために」

教育のすべての活動や決定は、子どもたちの最善の利益を最優先にします。

今年度は、年度末押し迫った3月4日にオリエンテーリングを行いました。あいにくの雨で校内オリエンテーリングとなりましたが、この一年間の子どもたちの成長の集大成を見ることができました。

子どもたちの笑顔と笑い声がいっぱいの日でした。



令和6年度 地域教育支援活動 表彰

長年にわたり、総合的な学習の時間等にご指導いただいた次の3名の方々が、県教育委員会より地域教育支援活動への功績により、表彰をお受けになりました。

坂東先生 「岩滝用水についての学習指導」「巣箱づくり」「水生生物観察」：30年間
「交通指導」：25年間

大村先生 「米づくり等の体験活動の指導」：22年間 「巣箱づくり」：6年間

大村先生 「米づくり等の体験活動の指導」：22年間

3月7日（金）に本校校長室で賞状をお渡しし、感謝の言葉を述べさせていただく予定です。